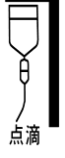
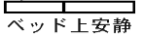


患者氏名：

経過 (日付)	入院日 ～手術前日		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	【退院予定日】	退院後	
			手術前	手術後									
	月	日～	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	
到達目標	手術の準備(必要書類・必要物品の準備)ができる。 分からないことを医療者に尋ねることができる。		手術内容を理解し、手術を受けることに同意している。		絶飲食の時間を守ることができる。	痛みときは我慢せず過ごすことができる。	痛み止めを使いながら立位～歩行できる。	尿管が抜け、病棟内を歩行することができる。	痛みのコントロールができています。	水分や食事摂取後に発熱・腹痛がない。 排便コントロールができる。	シャワーが自立して行なえる。	退院に支障となる合併症が認められない。	【退院の目処】 退院後の生活について注意事項が理解できる。
治療・処置	・身長、体重測定をします。 ・内服薬の確認をさせていただきます。		・OS-1を1本飲みます。 ・臍の処置をします。 ・麻酔担当医師の診察があります。		【午前の手術】 飲水止めまでにアルジネードウォーターを2本飲みます。 【午後の手術】 飲水止めまでにOS-1を1本とアルジネードウォーターを2本飲みます。 ・血栓予防のストッキングをはきます。 ・手術用の病衣に着替えます。 ・義歯・メガネ・時計などの貴重品は外してください。	・24時間点滴と抗生剤の点滴があります。 ・痛みに対しては、痛み止めなどの援助をさせていただきます。必要時、吐き気止めを行います。 ・鼻から管が胃に入ります。 ・酸素マスクをつけます。 ・お腹に管が入っています。			・状態を見ながらお腹の管を抜きます。 ・食事量をみて点滴を終了します。		手術方法によっては、糸抜きをします。 		
検査	採血があります。 				手術室でレントゲンがあります。	採血があります。 		採血があります。 			採血があります。 		
安静	制限ありません。 				帰室後ベッド上安静です。 	歩く練習を始めます。 	床ずれや腸閉塞の予防につながるため、歩行練習を積極的にしましょう。				退院です。 		
食事	入院後は低残渣食が出ます。医師の指示により絶食になることがあります。		絶飲食 		医師の指示で、飲水ができるようになります。 		昼から希望食(主食：小)が始まります。						
排泄	・昼食後と、17時に下剤(ピコスルファートナトリウム液 1/2本ずつ)を飲みます。 				尿の管が入ります。		・ガスが出たらお知らせください。 ・状況に応じて尿の管を抜きます。抜いた後は、尿量を測定してください。 ・排尿後に超音波で残尿をはかります。						
清潔	入浴またはシャワー 		歯を磨いてください。		うがいをしましょう。	・歯を磨きましょう。 ・体を拭きます。 				・お腹の管が抜けたら、シャワーに入れます。 			
リハビリ					歩く練習をしましょう。								
説明	・入院時オリエンテーション ・医師から手術についての説明があります。(外来で行われていない場合) 		・手術オリエンテーション 家族の方は、手術開始の2時間前までに病院にお越しください。		家族の方へ手術後の説明があります。 	本人様へ手術後の説明があります。				・服薬指導(必要時)	退院時指導		

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。
※病状等に変化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。